

社会資本総合整備計画														社会資本整備総合交付金														令和05年11月13日	
計画の名称	姫路市における鉄道網へのアクセスの向上																												
計画の期間	令和03年度 ～ 令和07年度（5年間）																				重点配分対象の該当								
交付対象	姫路市																												
計画の目標	鉄道駅やその周辺整備を通じ、誰もが安全、安心で快適に移動でき、地域間の交流、連携を図るまちづくりを促進する。																												
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）				4,020		A	4,020		B	0		C	0		D	0		効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）				0		%				

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2末	—	R8末
1	JR姫路・英賀保間新駅における鉄道乗車人員 JR姫路・英賀保間新駅から鉄道（JR山陽本線）に乗車した人数を計測する。	0人／日	人／日	500人／日
2	鉄道（JR山陽本線）による手柄山中央公園利用者の割合 自由通路において、休日にJR姫路・英賀保間新駅から手柄山中央公園方面へ向かう人数を計測し、公園全体の利用者数で除して得た割合を算出する。	0%	%	10%
3	鉄道駅の両側改札化による新設改札口の利用者 JR英賀保駅・JR仁豊野駅・山陽電鉄的形駅の新設改札口を利用した乗降者数を計測する。	0人／日	人／日	2300人／日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	都市交通	一般	姫路市	直接	姫路市	-	-	J R 英賀保駅北改札口整備事業	駅改札口 N=1箇所	姫路市	■	■	■	■		420		-
		英賀保駅北側の土地区画整理事業等により、北側からの駅利用者が増加している。北改札口を整備することにより、北側からのアクセス性向上やバリアフリー化による交通結節機能の強化を図る。																	
	A13-002	都市交通	一般	姫路市	直接	姫路市	-	-	J R 姫路・英賀保間新駅整備事業	駅施設整備 A=0.4ha	姫路市	■	■	■	■	■	2,910		-
		駅間距離が長い J R 姫路駅と英賀保駅の間に新駅を整備することにより、鉄道網へのアクセス性や交通結節機能を充実させ、手柄山中央公園やその周辺地区における利便性の向上と活性化を図る。																	
	A13-003	都市交通	一般	姫路市	直接	姫路市	-	-	J R 仁豊野駅周辺整備事業	駅前広場 A = 0 . 3 h a、 駅改札口 N = 1 箇所	姫路市				■	■	300		-
		従来より駅西側での宅地開発により、駅利用者の半数が西側の利用である。西改札口及び駅前広場の新設により、西側からのアクセス性向上やバリアフリー化による交通結節点機能の強化を図る。																	
	A13-004	都市交通	一般	姫路市	直接	姫路市	-	-	山陽電鉄的形駅周辺整備事業	駅前広場 A = 0 . 4 h a、 駅改札口 N = 1 箇所	姫路市				■	■	390		-
		南北に広い駅勢圏を有する当駅北側に改札口及び駅前広場を新設することにより、北側からのアクセス性向上やバリアフリー化による交通結節点機能の強化を図る。																	
											小計						4,020		
										合計						4,020			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05		
配分額 (a)	60	40	150		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	60	40	150		
前年度からの繰越額 (d)	0	58	40		
支払済額 (e)	2	58	65		
翌年度繰越額 (f)	58	40	125		
うち未契約繰越額(g)	46	40	125		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	76.66	40.81	65.78		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	占有許可物件の移設協議に時間を要したため。	占有許可物件の移設協議に時間を要したため。	関連事業との調整に不測の日数を要したため。		

事前評価チェックシート

計画の名称： 姫路市における鉄道網へのアクセスの向上

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 関係法令等との適合等 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置付けが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

(参考図面)

